

羽ばたけ! TUT2020 報告書

2 系 (B) 4 年 氏名 中原 智裕

参加プログラム	オーストラリア研修
研修先機関名及び 所在国	ELC of Adelaide university, Australia
プログラム名	Global jinzai program
研修内容	
本研修に参加して自分のステップアップ、そして意欲をさらに高めることができたと思います。本来であれば、GAC コースの特権である海外インターンシップがこの時期に予定されていましたがコロナ ウイルスが流行したことを受け、白紙になってしまいました。このプログラムを楽しみにコースへ入学し、先生たちはどのようなコネクションを持っているのか下調べしているときにウイルスが流行ってしまいとても戸惑いました。落ち込んでいるとき大学がこのような機会を与えてくれ、とても嬉しかったです。参加しないという選択肢は私の中にありませんでした。 本研修に参加するにあたり自分の目標として決めていたことは 3 つありました。まずは文法がめっちゃくちゃでもとりあえず英語で話す。技科大にいる留学生を見て思ったことは、彼らは失敗を恐れず立ち向かっているということです。私も彼らに負けず成長するためには必要なことだと思いました。次にオーストラリアのいまを知ること。アメリカやヨーロッパは日本のニュースでも耳にすることが多いが日本と経度が変わらないオーストラリアの事を聞くことはとても少ないと思います。そのため、オーストラリアの文化などを聞くのはもちろん現状を知ることとは日本と比較することができ、自分の知識を増やすことができると考えました。最後の目標は、コミュニティを広げるということです。これまで高専、技科大と進学し、工学系の人たちの交流のみでした。技科大にいただけでは技科大生としか仲良くなれません。大学生時にコミュニティを広げることでいろんな見解を知ることができ、議論をするという事で自分の知識の幅も広がると考えました。これらの 3 つの目標をまとめ、目的をオーストラリアのいまを知り、知識を深めることとしました。 研修内容としては、週 3 回(月曜、水曜、金曜)各日 3 時間は ELC の先生との英語学習及び日常会話を行いました。英語学習では主に比較級の練習やタイピング、そしてオーストラリアのスラングなどを学びました。日常会話では英語を使う練習として、週末あった出来事や週 2 回のスチューデントガイドとの出来事について話し会話を楽しみました。週 2 回各日 2 時間はスチューデントガイドとアデレードの町を探索、大学案内、ホストファミリー宅訪問、ランドルモールでの地元の方への質問、そして日本のことを紹介するリバースツアーを行いました。本研修の中で、一番楽しかったことは、私は日本の事を紹介するとき神戸の街を実際に歩いて紹介したのですが、スチューデントガイドがいろいろなことについて質問を持ち、このようなことにも興味	

が湧くのかと思いました。以前から英語で日本の事を紹介することは難しいと感じていました。独特な文化をもつ日本は説明するうえで難点が多いからです。スチューデントガイドは私の映している映像をみて、日本人は歩くが早い、みんなマスクをしているなど とても驚いている様子でした。なぜ神戸に中華街があるのか等歴史を知っておかないといけないことも 多くまだまだ精進が必要だと感じました。

実際に参加するまではどんな感じなのか想像もつきませんでした。コロナで何もかもオンライン化が進み留学さえもこのような形で実現されると思っていなかったからです。しかし、本研修はとても有意 義な時間であったと考えます。春休みで時間があり、自分を成長させるひとつのきっかけになりました。 学生の間にしかできない多くの事に興味を持ち、失敗を恐れず挑戦する心はとても大切であり、今後の人生に間違いなく影響します。英語学習をするとともにオーストラリアのいまや生活を知ることができ、本当にアデレードに滞在しているようでとても楽しかったです。このような機会を与えてくれた大 学とアデレード大学 ELC の方々にはとても感謝しています。これからも一人の人間として向上心を忘れず勉学に励みたいと思います。



(1) アデレードの町を探索



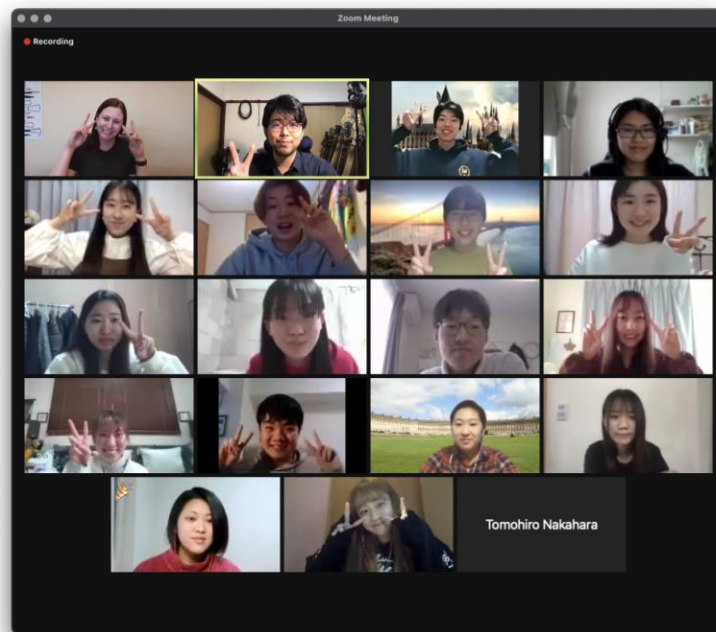
(2) アデレード大学



(3) アデレード大学でのインタビュー



(4) ランドルモールでのインタビュー



(5) みんなで記念撮影